

研究者
紹介

私の研究

人類研究部 人類史研究グループ

かいふ ようすけ
海部 陽介 グループ長



国立科学博物館

『3万年前の航海 徹底再現プロジェクト』 ～祖先たちの偉業を理解する～

私たちの祖先と呼べる集団が初めて日本列島に現れたのは、3万8000年前頃のことです。彼らは九州・本州や琉球列島へ、海を越えて渡ってきました。

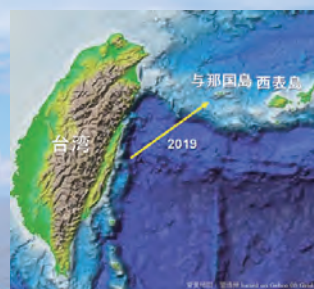
これは、西太平洋地域で始まった、人類最古段階の海洋進出の1つと考えられます。人類が初めて海に出ようと決意し、その技が磨かれ、やがて島への移住を成功させた挑戦の歴史が、ここ日本列島にもあったのです。とりわけ琉球列島への渡海は、島が小さく遠く、黒潮という世界最大級の海流が行く手を阻み、困難であることから注目に値します。

そんな知られざる太古の祖先たちのチャレンジを、壮大な実験航海とともに探求するのがこのプロジェクトです。私たちは、当時の舟を学術的に推定し、実際に作って航海してみることで、祖先たちがどうやって琉球の



プロジェクト・イメージ。2016年の草束舟のテスト航海島々へたどり着いたのか、それはどれだけ難しいことであつたのかを理解したいと考えています。

私たちは2016年から3年かけて、様々な実験を行います。そして最もあり得そうなモデルを選んで、2019年に予定している本番航海（台湾→与那国島）に臨みたいと考えています。



2019年に台湾→与那国島の実験航海を行うのが最終目標。



3万年前の舟の有力候補である草・竹・木のうち、2017年は竹の舟を試した。

2017年に台湾の海で実施した竹筏舟による航行テスト

航海プロジェクトを応援してください！

公式ホームページに詳しい情報がありますので、ぜひご覧ください。
<https://www.kahaku.go.jp/research/activities/special/koukai/>
 ➡「科博 航海」で検索

研究者に 聞いてみました！

1) 専門は何ですか

人類進化の研究です。2016年にNature誌に発表したインドネシアのフローレス原人の研究（右写真参照）は国際的注目を集め、世界で600もの報道がありました。

2) これから取り組んでみたい研究は

人類の海洋進出の歴史をひもとくために、新たな構想を練っています。

3) 自身の研究内容と社会、一般との接点は

近年「人類史」に大きな注目が集まっていますので、研究で貢献していきたいと思えます。

4) 今の職業に就いていなければ何をしたいか

ジャーナリスト？



フローレス原人（左）と現代人（右）の頭骨。左記で発表した下顎骨の化石を左に青色で重ねて示している。

人類研究部